

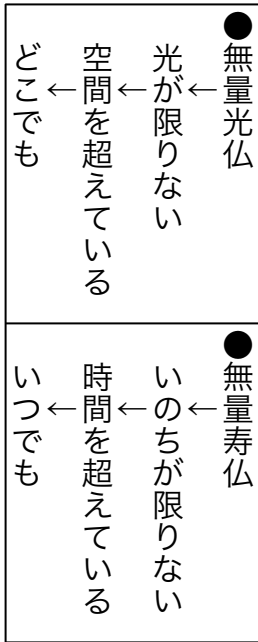
# 浄土真宗本願寺派 西光寺寺報

## 「光といのちきわみなく」

慈光照護のもと、門信徒の皆さまにはますますご清祥にお念仏ご相続のことと慶賀に存じあげます。

さて、私たちがご本尊といただく阿弥陀如来の**アミダ**は昔のインドの言葉で、その音に漢字を当てて阿弥陀となりました。アミダにはアミターバ（光に限りがない）、アミターユス（いのちに限りがない）の2つの意味があり、漢字に訳して無量光仏、無量寿仏といわれます。なんだか難しいですね。

でも、なんとなく表にまとめるとこんな感じになります。



つまり、阿弥陀という仏さまは、『いつでも』『どこでも』『この私を救うと願ひ続けてく

### 永代経にお参りください。

### 6月9日（金）ヒル2時・ヨル7時

ださっているということですよ。ですから私は難しいことは考えず（そもそも、難しいことはわかりません（笑））、いつでもどこでもの仏さまといただいています。しかも！阿弥陀さまは、亡くなっていかけたすべてのいのちを、浄土に生まれさせるとお誓いします。

私たちの人生は何が起きるか全く先がわかりません。でも、たいてのことはなんとかなり、いのち終えたあとのことも、阿弥陀さまがちゃんと**解決**済みなのです。

私たちは仏法に**あ**うこととでそのことに気づかされ、南無阿弥陀仏とお念仏を称える身にお育ていただいていたのですね。

## 「彼岸会・花まつりについて」

去る3月20日（月）に当院の彼岸会が厳修されました。お参りくださったみなさま、本当に有り難うございました。佐々木先生からは軽妙洒落な語り口の中に、私たちがどこまでも凡夫であることを気づかされ、阿弥陀如来の救いがなくてはならない私たちの煩惱具足の生きさまを教えていただきました。

また、4月8日（土）お釈迦さまの誕生日を祝う花まつりが浄土西光寺さまにて開催されました。たくさんの子供たちも来てくれて有り難かったです。お参りくださったみなさん、子供さんを連れてきてくださったみなさん、そして、奉賛懇志をしてくださったみなさん、本当に有り難うございました。お会いしたときにお礼を……と思うのですが、つい忘れてしまうこともあります。この場を借りてお礼申し上げます。



彼岸会で佐々木先生のご法話を熱心に聴聞するみなさん



花まつりで専了寺さまの演じる紙芝居に熱中する子供たち

「永代経・本納骨のご案内」

日	14時〜 速夜	19時〜 初夜
9日 (金)	佛説無量寿経 四十八願 法話二席 本納骨法要	新制 佛説観無量寿経 法話一席

ご法話 本願寺布教使

奥田 順誓師です。

例年のように、当院の永代経法要を勤めさせていただきます。ご門徒のみなさまの先祖さまをご縁とした法要です。万障お繰り合わせの上、どうかみなさまお誘い合わせ

お参りください。

昨年はじめて配布させていただいた新しい御仏供米（御膳米）の袋ですが、ちよつと欲張って大きいのを作りすぎました！袋一杯に入れなくても結構です（汗）。昨年ご門徒のみなさまからお預かりした分だけで、お仏飯はもちろん、私と坊守のいたたく分もすべてまかなうことができました。ご門徒さまからのお布施（施し）で生かさせていただきました。いている我が身と感謝しております。いつも何かと頂戴してありまして、本当に有り難うございます。

また、七回忌を過ぎて当山納骨堂にご安置してありますご遺骨の本納骨法要を、お速夜の永代経法要の後に執り行います。関係のご門徒さまにはご案内を同封してあります。ご覧ください。

「三国町仏教婦人会総会・追悼法要にお参りください」

三国町仏教婦人会の総会ならびに追悼法要が今年も勤まります。ぜひお参りください。三国町仏教婦人会も会員数が減少しております。仏教婦人会の存続なくしては、この三国町の浄土真宗の存続はあり得ないと思います。まだの方はぜひ入会していただきますよう切にお願い申し上げます。

日時 6月5日(月) 午後2時〜

場所 下旭 圓乗寺

法話 日下賢城先生

日下先生は私がいつもお世話になってい、山中温泉の恩栄寺のご住職です。本願寺でも何度もご法話なさっているベテラン布教使です。この機会にぜひお参りください。

「護持会費のお願い」

ご門徒のみなさまには、今年もまた西光寺護持会の会費のお願いの文書を同封させていただきますました。寺の護持・運営、修繕などに大切に使用させていただきたいと思っております。どうかよろしくお願いいたします。

お寺はご門徒のみなさまのものです。私は『任職』、みなさまのお寺に住まわせていただいております。みなさまにお育てをいただきながら、なんとか法務を勤め、親鸞聖人のあきらかにされたお念仏のみ教えをお伝えして参ります。みなさまからの『財施』を『法施』でお返しできますように。

※来寺のお約束や、お参りの変更など、重要なことは必ず任職の携帯にご連絡下さい。出られなければ留守電に入れてください。

住職携帯 090-8967-7902

メール soichiro4989@gmail.com

ブログ 西光寺で最高時！